

# 行政学への第一歩

Yasu Akihiro  
安章浩 著

本書は、行政を単なる制度や組織管理論として捉えるだけでなく、「国家の活動」として広く捉え直している。国家の成立以降、その性格や活動も変化し、それと連関して「行政のあり方」も変化している。従って、「行政のあり方」の変化の歴史から「行政とは何か」を学ぶ独自の歴史的アプローチを取っている。それに基づいて、欧米日の政治・行政の比較分析の中で、現代日本の行政の世界的位相も明らかになっている。そのみではない。国家公務員試験や地方公務員試験を目指す人々を支援するために試験対策に必要な内容も網羅している。行政学を学ぶすべての方に最適な一冊である。

## 行政学への第一歩

*A Companion to an Introduction to the Public Administration*

Yasu Akihiro  
安章浩 著

「国家活動の歴史から『行政とは何か』を問う-欧米日比較と、国家公務員・地方公務員試験対策も充実した行政学の必携一冊！」



A5判・308頁 c0031  
ISBN978-4-910302-08-9  
定価 2970円 (本体：2700円)

### 【目次】

- はじめに
- 第一部 欧米諸国と近代日本における「国民のための行政」への歩み  
— 行政の在り方を歴史から学ぶ —
- 第一章 行政学への第一歩—歴史から学ぶ行政の在り方—
- 第二章 近・現代日本の行政の歴史的位相—行政類型論から見た行政の遷移—
- 第三章 行政学の成立とその展開
- 第二部 グローバル時代における現代日本の行政  
序 新自由主義論に基づく行政改革
- 第一章 ボトムアップ型からトップダウン型への政府機構の改革
- 第二章 行政過程
- 第三章 行政責任とその確保
- おわりに
- 政治分析のキー概念のパラダイム転換とその行政学へのインパクト  
— 政策科学の視点からの行政過程の新たな解釈論の展開 —

### 【著者紹介】

著者略歴  
安章浩 Akihiro Yasu  
1968年東京都生まれ。  
慶応義塾大学経済学部卒業、早稲田大学大学院政治学研究科後期博士課程単位取得満期退学。  
行政管理センター研究員、防衛大学校非常勤講師を経て、2000年4月、尚美学園大学総合政策学部専任講師に就任。同大学助教授を経て、現在、教授。

### ■主な著書

『比較政治学とデモクラシーの限界—臨床政治学の展開』(共著、東信堂、2001年)、『ガバナンス』(共著、北樹出版、2005年)、『政策課題』(共著、北樹出版、2006年)、『行政の未来—片岡寛光先生古稀祝賀』(共著、成文堂、2006年)、『身近な公共政策論—マイクロ行政学入門』(共著、学陽書房、2010年)、『憲法改正の政治過程—ドイツ近現代憲法政治史から見えてくる憲法の諸相』(単著、学陽書房、2014年)など。

### ■主な訳書

クリス・ソーンヒル『現代ドイツの政治思想家—ウェーバーからルーマンまで』(共訳、岩波書店、2004年)、クリス・ソーンヒル『ドイツ政治哲学—法の形而上学』(共訳、風行社、2012年)など。

WORLD DOOR

注文書

年 月 日

## 行政学への第一歩

Yasu Akihiro  
安章浩 著

定価(本体2700円+税)

部

備考

◎ご注文はJRCへ

FAX 03(3294)2177

株式会社JRC経由で、すべての取次への出荷が可能です。返品は長期にお受けいたします。